

VAC

Velocity Advanced Computer

Type IS F

取扱説明書

取付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取付ける前及びご使用前に必ずお読みになってください。
本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご活用ください。
ご使用中にわからないことや、不具合が生じた際に便利です。



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

E89751-T34020-00
2008年 10月10日発行
Ver. 3-1.01

はじめに

この度はHKS VAC Type IS Fをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を安全に使用していただき、かつ機能を十分に発揮させるために取付け前及びご使用する前に本書をお読みください。

商品名	VAC (Velocity Advanced Computer) Type IS F			
用途	自動車用スピードリミッター解除装置			
適合車種				
車名	車両形式	エンジン形式	年式	コードNo.
IS F	USE20	ZUR-GSE	'07.10~	45002-AT010

HKS VAC Type IS Fは、純正車両のスピードリミッターを解除する装置です。
VAC Type IS Fを付けることにより、180km/hを超えてもスピードリミッター制御が入らなくなり、サーキット走行時に非常に有効です。
VAC Type IS FはCAN通信上の車速データを、4パルスの車速信号に変換して出力するオプション出力機能を搭載しています。車速表示装置に接続することで、350km/hまでの車速の表示が可能となります。
一般公道では交通ルールを厳守し、安全運転をしてください。

- 本書は本製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。
- お客様、又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の取付けには、車両の内外装、及び電装系の取外し、加工等の作業が伴います。当社はこれらの作業による物的損害の責任を負いかねます。慎重に作業してください。
- 本製品はノーマル車両及びHKS製品取付け車両を基準に開発されており、上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品は、DC12Vマイナスアースの国産車のみで使用可能です。本製品の仕様は付属品を含め、改良の為予告なく変更することがあります。
- 本書は予告なく改訂することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご活用ください。
- 本製品の取付けによって、車両メーカー保証を受けられない可能性があります。この場合、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

はじめに.....1	維持・管理.....6
目次.....1	異常・故障時の対応.....6
安全上の注意.....2	アフターサービスについて.....6
パーツリスト.....2	本製品の仕様.....6
取付方法.....3	用語の説明.....7
取付終了後の確認.....5	改訂の記録.....7
故障と思う前に.....5	
取扱方法.....6	

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用してお客様への危険レベルを示しています。本製品を正しくご使用、お取扱いただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

警告 作業中又は使用者が死亡、又は重傷を負う可能性がある場合

注意 作業中又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合(人損)拡大物損の発生が想定される場合(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害[例えば、車両破損及び焼損])

警告

- 本製品及び付属品が運転の妨げにならないように取付けてください。運転操作ができなくなり、事故の原因となります。
- 本製品は、DC12Vマイナスアース車両専用です。24V車両には取付けしないでください。火災の原因となります。
- バッテリーのマイナス端子のターミナルを取外してから作業を行ってください。ショート等による火災及び電装部品の破損・焼損の原因となります。
- 使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。そのまま使用しますと、感電や火災の原因となります。

注意

- 本製品の取付けは、必ず専門業者に依頼してください。
- 本製品及び付属品の加工・分解・改造等の誤使用及び修理は絶対行わないでください。感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 精密電子機器のため、落としたり強いショックを与えないでください。作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- オイル・水等の異物が混入しないようにしてください。作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- 断線・ショート・誤配線の無いように取付けてください。感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 車両及び本製品の本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。

- 日常点検はドライバーの責任です。必ず実施してください。
- 純正部品の取付け、取外しの作業はメーカー発行の整備書をよく読んでから行ってください。
- 整備書がお手元にない場合は、メーカーにてご購入ください。
- 取付け作業のために一時的に取外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
- ボルト・ナット類は適正な工具で確実に締付けてください。
- 必要以上に締付けを行なうと、ボルトのネジ部が破損します。
- 接続時に、車両の配線を断線しないように取付けてください。

パーツリスト

本製品は、下記の部品で構成されています。取付け前に異品・欠品の無いことを確認してください。

1	本体	1	2	中継ハーネス	1
	32×30mm 2枚				
	250mm 5本				
3	両面テープ・タイラップ	4	取扱説明書		1部

取付方法

1. 適合車種の確認

取付けを行う車両が、下記の適合車であることを確認してください。

車名	車両形式	年式	エンジン形式	備考
IS F	USE20	'07.10~	ZUR-GSE	

注意

- 適合車種以外への取付けは絶対に行わないでください。作動不良を起こし車両を破損する恐れがあります。適合車種以外に取付けを行った場合に発生した、不具合や損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

2. 取付けに必要な工具の準備

取付作業には、下記工具が必要になります。作業を行う前に準備してください。
・スパナ10mm ・ソケットレンチ10mm ・ニッパー ・ヤスリ

3. バッテリーマイナスターミナルの取外し

- (1) バックガイドモニター付き車両の場合は、ハンドルを真っ直ぐにしてください。(ハンドルが真っ直ぐになっていない場合は、作業後に、バックガイドモニターの予想進路がずれる場合があります。)
- (2) IG-OFF後、6分以上経過してからバッテリーのマイナス端子のターミナルを取外してください。

4. 取付方法

下記手順に従って作業を行ってください。

(1) エンジンルームカバーの取外し



図1の①②の順に、エンジンルームカバーを取外します。

(2) ECUボックス上蓋の取外し



図2の③の箇所の、ECUボックスの上蓋を取外します。

(3) ECUの確認とECUハーネスの取外し



図3のようにECUがあることを確認します。図3の④のカプラをロックを押しながら外します。

(4) VAC中継ハーネスの取付け

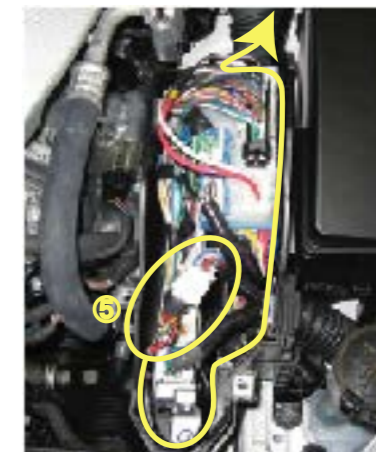


図4のように、ECUの⑤カプラが挿入してあった位置に、VACの中継ハーネスのカプラをロックがしっかりとかかり「カチッ」と音がするまで挿入し接続します。中継ハーネスは図4で示すように引き回します。

図4

(5) VAC中継ハーネスの車内への引き込み



図5の⑥の箇所から、VAC中継ハーネスを車内に引き込みます。この時、図6のようにVAC中継ハーネスのカブラ部分をテープで巻き、保護してください。

図5

図6

(6) VAC本体の固定



図7のように本体を助手席足元に両面テープを使用し固定します。

図7

(7) ECUボックス上蓋の加工と取付け



図8

VAC中継ハーネスの断線を防ぐ為、ECUボックスの上蓋を、図8の⑦のように加工します。VAC中継ハーネスにストレスがかからない事を確認しながら、ECUボックスの上蓋を取付けます。

(8) VAC中継ハーネスの固定

VAC中継ハーネスにストレスがかからないように、付属のタイラップを使用して、固定します。

(9) エンジンルームカバーの取付け

(1)で取外したエンジンルームカバーを取付けます。

(10) オプション出力線について

水色線のオプション出力線を、サーキットアタックカウンター(白線)やターボタイマーtype I(青線)に接続する事によって、180km/h以上の車速の表示が可能になります。車速パルス数は4パルスです。

[禁無断複写・転載] © (株)エッチ・ケー・エス

5. 取付後の作業

- (1) 取外した部品を元通りに取付けてください。
- (2) バッテリーのターミナルを元通りに取付けてください。
- (3) 必要に応じて、下記項目の設定を行ってください。

●バックガイドモニター

エンジン始動後、バックガイドモニターのヘルプを参照し設定します。ヘルプがない場合や設定できない場合は、下記のいずれかの方法で設定してください。

方法1

1. ステアリングホイールを右いっぱいに切ります。
2. ステアリングホイールを左いっぱいに切ります。

方法2

できるだけカーブや渋滞の少ない進路を20km/h以上で5分間以上走行します。

設定が完了すると予想進路が表示されます。

●パワーウインドウシステムの初期化

1. IGをONにする。
2. ガラスを全開にする。
(ガラスが1/4以上、下がっている場合は作業不要)
3. スイッチをUP側に押し続ける(全閉→1秒間維持)
※2と3を全席で行う。

●ステアリングセンサ0点取得

1. エンジンを始動する。
2. メータ車速45km/h以上で8秒間以上直進走行する。

取付終了後の確認

本製品の取付後、下記の項目に従って、取付作業に間違いのないことを確認してください。

1. エンジン始動前の確認

確認項目	確認
取付けた部品が、他の部品と干渉していないか。	
ハーネスは確実に固定されているか。	
バッテリー端子のターミナルが元通りに取付けてあるか。	
VAC Type IS FのハーネスがECUボックスに挟まれていないか。	

2. エンジン始動後の確認

確認項目	確認
エンジンチェックランプは点灯していないか。	
VAC中継ハーネスは引っ張られていないか。	
エンジンを停止した後、各部が緩んでいないか。	

以上で取付作業は終了です。

●作業者の方へのお願い

取付け作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

故障と思う前に


本製品が正常に作動しない場合には、故障と判断する前に、次の項目を確認してください。このとき、専門業者に本書を渡してください。

確認項目	確認
VAC中継ハーネスのカプラはしっかりと差し込まれているか。	
純正のカプラはしっかりと差し込まれているか。	
取外した部品は元通りに取付けてあるか。	

取扱方法


1. 整備、点検、車検などのため、ディーラなどに車両を出す場合は、必ずVAC Type IS Fを取外し、ノーマル状態に戻してください。
2. 一般公道では交通ルールを厳守し、安全運転をしてください。

維持・管理

 注意
●VAC Type IS Fのハーネスや本体に水がかからないようにしてください。 VAC Type IS Fのハーネスや本体に水がかかると、動作不良を起こし、VAC Type IS Fや車両を破損する恐れがあります。
●ユーザマニュアルに記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。

- 快適に運転していただくために、必ず日常点検を行なってください。

異常・故障時の対応

 注意
●使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止してください。 そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。
●故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
●走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。

故障の際は、保証書に必要事項等が記入・捺印されていることを確認し、保証書に症状を記入のうえ専門業者に修理を依頼してください。

アフターサービスについて

本製品に関するお問い合わせ、紛失部品等の購入は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本製品の仕様

- 作動電圧…………… DC10～16V
- 動作可能温度…………… -20～75℃
- 最大消費電力…………… 4W

用語の説明

専門業者	: お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場・ショップ。
ユーザマニュアル	: お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。
メーカー	: 車両の製造会社。
整備書	: メーカー発行の車両個々の整備要領書・修理書。
点検・整備	: 本製品と自動車全体を安全に運転するために機能・性能を確認し不具合部位を修理・調整すること。
日常点検	: 自動車を運行する人が行なう点検。日常点検及び点検項目はユーザマニュアルに従って作業を行なってください。
ノーマル車両	: 車両購入時の状態である・アフターパーツを取付けていない・事故を起こしたことの無い、以上の条件を満たす車両。
ECU	: 車両のエンジンコントロールユニット。
誤使用	: 加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤使用。
電装部品	: 車両の電気・電子部品。

改訂の記録

Ver.	日付	記載変更内容
3-1.01	2008.10	初版

保証について

本製品は「保証書」の内容に従って保証されています。「保証書」をよくお読みになり、お買い上げ日・店名・住所が記入・捺印されていることを確認のうえ、必要事項を記入し、大切に保管してください。記入もれがあると、保証期間中でも有償となります。

■販売店様

本製品は「保証書」の内容に従って保証されています。「保証書」をよくお読みになり、販売店・貴店名・住所を記入・捺印のうえ、お客様に渡してください。記入もれがあると、保証期間中でも有償となります。

保証期間経過後の修理、及びお客様の不注意により、修理が必要になった場合は、お買上の販売店にお問合わせください。